

# U.S. Indicators

発表日: 2024年11月19日(火)

## 10月米鋁工業生産は航空機メーカーストとハリケーン襲来で縮小

～米航空機大手メーカーでのストライキ、ハリケーン襲来が10月生産を0.3%p押し下げ～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治 (Tel: 050-5474-7493)

24年10月の鋁工業生産は、米民間航空機大手メーカーでのストライキのほか、ハリケーン「ミルトン」の襲来や、「ヘリーン」の影響により、前月比▲0.3%（前月同▲0.5%）と2ヵ月連続で減少した。市場予想中央値の同▲0.4%（筆者予想同▲0.3%）を上回ったが、24年5月-9月合計で0.1%下方修正されており、概ね予想通りの内容。FRBによると、10月の鋁工業生産は、米民間航空機大手メーカーでのストライキによって0.2%p（9月0.3%p）押し下げられたほか、ハリケーン「ミルトン」の襲来とハリケーン「ヘリーン」の長引く影響によって0.1%p押し下げられた（9月は2つのハリケーン襲来で0.3%pの押し下げ）。これらの要因を除けば、10月の鋁工業生産は前月比横ばいだった。

鋁業が前月のハリケーン襲来による落ち込みの反動もあり前月比+0.3%（前月同▲1.9%）と増加に転じたほか、公益が同+0.7%（同+0.3%）と加速した。一方、製造業は米民間航空機大手メーカーでのストライキの影響などもあり前月比▲0.5%（同▲0.3%）と減少幅を拡大し市場予想中央値と一致したが、24年5月-9月合計で0.2%上方修正されており、市場想定よりも若干強い。

生産の基調をみると、7、9、10月のハリケーン襲来のほか、9、10月の民間航空機大手メーカーでのストライキによる生産活動の落ち込みによって、3ヶ月移動平均・3ヶ月前対比年率で、10月の製造業生産が▲1.0%（前月▲0.6%）、鋁工業生産が同▲1.2%（前月▲0.6%）とマイナス幅を拡大した。

10月の設備稼働率は、生産能力の拡大が続くなか、生産の縮小によって製造業が76.2%（前月76.7%）、鋁工業が77.1%（前月77.4%）と低下、製造業、鋁工業ともに23年よりも低い水準にとどまっている。

製造業の業種別生産動向を前月比で見ると、拡大した業種は、拡大幅の大きい順に、非鉄（+1.0%）、コンピューター・電子（+0.9%）、石油・石炭製品（+0.9%）、化学（+0.6%）、その他製造業（+0.6%）、紙パ（+0.5%）の6業種（前月7業種）と減少した。ハイテク部門は、前月比+0.7%（前月▲0.2%）と増加に転じた。

一方、縮小した業種は、縮小幅の大きい順に、航空宇宙・その他輸送機器（▲5.8%）、一次金属（▲3.3%）、自動車・同部品（▲3.1%）、印刷・同サポート（▲2.6%）、家具・同関連製品（▲1.1%）、プラスチック・ゴム（▲1.0%）、その他耐久財（▲0.8%）、木材製品（▲0.5%）、繊維（▲0.4%）、アパレル・皮革（▲0.4%）、電気設備・機器・同部品（▲0.2%）、加工金属（▲0.2%）、一般機械（▲0.2%）、食品・飲料・タバコ（▲0.1%）の14業種と前月の13業種から増加した。

前年比で拡大した業種は、木材、コンピューター・電子、電気設備・機器・同部品、自動車・同部品、紙パ、印刷・同サポート、石油・石炭製品、化学の8業種にとどまり、製造業全体で▲0.3%（前月0.0%）と減少した。

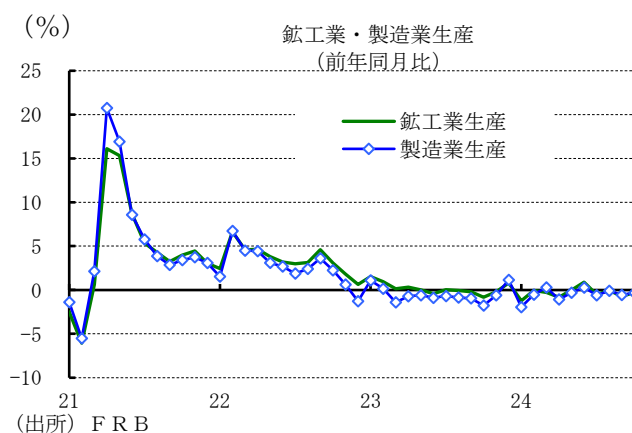
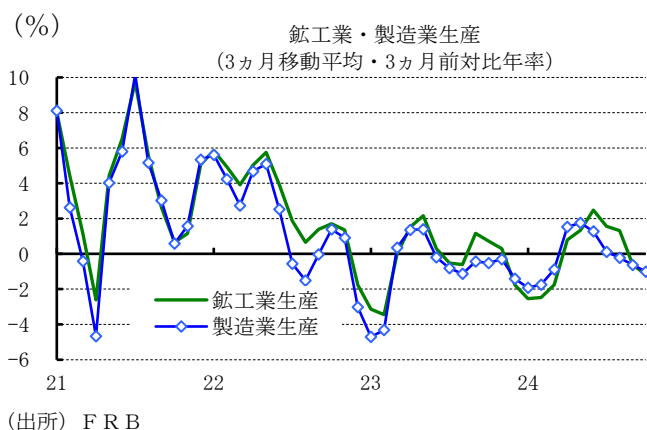
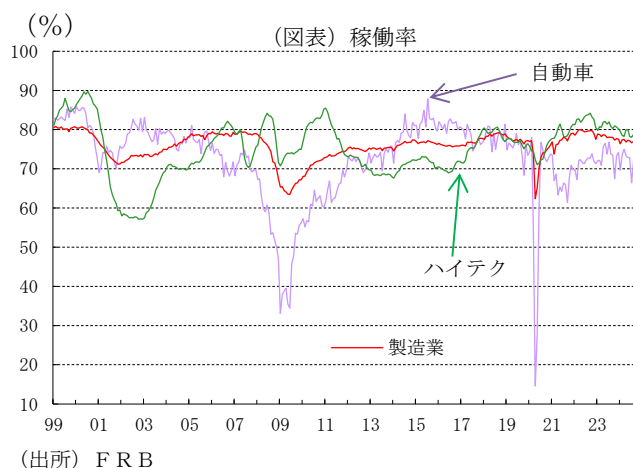
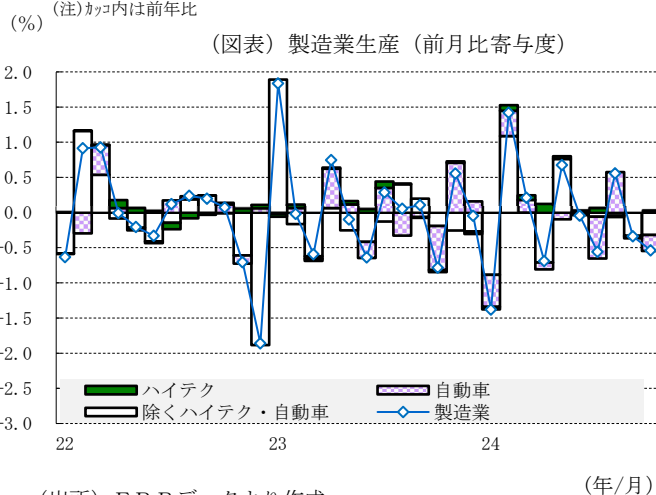
ボーイングのストライキは11月4日に終了、6日から工場が再開されており、生産は徐々に回復している。一方、ハリケーンの影響の剥落が期待できるほか、底堅い需要や在庫調整の進展を背景に製造業生産は、11月に拡大すると見込まれる。

24年の製造業生産は、9、10月の下振れの影響もあり前年比▲0.4%（23年▲0.5%）と2年連続で縮小するとみられる。25年には、国内需要の拡大が続くもと、先行き不透明感の払拭、循環的な拡大等を背景に、同+0.8%と小幅増加すると見込まれる。

### 鉱工業生産

	鉱工業生産					設備稼働率			生産能力		
	製造業 (NAICS)	鉱業	公益	ハイテク 関連	除ハイテク 関連	全産業	製造業 (SIC)				
23/11	+0.3	(▲0.2)	+0.5	▲0.2	▲0.2	+0.6	+0.5	+8.8	+78.4	+77.7	+0.1
23/12	▲0.2	(+0.8)	▲0.1	+0.6	▲2.4	+0.3	▲0.1	+1.3	+78.1	+77.6	+0.1
24/01	▲1.1	(▲1.2)	▲1.3	▲4.3	+4.3	+0.2	▲1.4	▲5.9	+77.2	+76.5	+0.1
24/02	+1.2	(▲0.1)	+1.4	+4.3	▲3.6	▲0.3	+1.6	+5.8	+78.1	+77.5	+0.1
24/03	▲0.2	(▲0.3)	+0.2	▲0.6	▲2.4	+0.6	+0.1	+2.1	+77.8	+77.5	+0.1
24/04	▲0.2	(▲0.8)	▲0.7	▲0.1	+3.6	+3.1	▲0.8	▲2.0	+77.7	+76.9	+0.1
24/05	+0.6	(▲0.0)	+0.7	▲1.0	+2.3	+1.0	+0.5	▲0.5	+78.1	+77.3	+0.1
24/06	+0.3	(+0.9)	▲0.0	+1.0	+1.7	▲1.3	+0.1	+0.2	+78.2	+77.2	+0.1
24/07	▲0.7	(▲0.5)	▲0.6	▲0.8	▲1.3	+0.8	▲0.8	▲8.7	+77.6	+76.7	+0.1
24/08	+0.5	(▲0.0)	+0.6	+1.3	▲1.1	+1.9	+0.6	+8.6	+77.9	+77.0	+0.1
24/09	▲0.5	(▲0.7)	▲0.3	▲1.9	+0.3	▲0.2	▲0.4	▲0.4	+77.4	+76.7	+0.1
24/10	▲0.3	(▲0.3)	▲0.5	+0.3	+0.7	+0.7	▲0.6	▲3.1	+77.1	+76.2	+0.1

(注)カッコ内は前年比



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。